

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市児島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖 180 番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤澤 徳久
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	介護保険への移行について、利用者の方が心配しないよう配慮していることや、虐待、成年後見人制度のような困難ケースに丁寧に対応していることは、評価できる。	総合評価
	家庭訪問や同行等、利用者への積極的なアプローチが伺える点は、利用者の方の可能性を広げることにつながり、評価できる。	S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>今年度は他機関との連携を重視して評価を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は 65 歳に到達する利用者が例年に比べ多かったため、介護保険へのスムーズな移行が図れるよう、高齢者支援センターや介護支援専門員との連携を特に意識して支援を行った。 ・関係機関の担当者には障がい特性や関わり方を丁寧に伝え、利用者が安心して移行できるように配慮した。 ・虐待ケースをはじめとする困難ケースや親亡き後を見据えた成年後見制度申し立てなどの相談も多く、倉敷市福祉援護課等の関係機関と連携しながら慎重に取り組んだ。 ・利用者が抱える課題が複雑化、多様化していることから、特に電話相談において対応に時間を要するケースが大幅に増加した。このため、対応件数は減少したが、相談者に寄り添った丁寧な対応に努めた。 ・来所相談が難しい利用者に対する積極的な訪問や、利用者自らの力を引き出すため、手続等に同行して支援を行った。 ・サロン活動については感染防止対策に取り組みつつ、利用者の声を聞きながら可能な限りプログラムを実施した。 ・「児島はばたきふれあい祭り」をコロナ禍前の規模に戻して実施し、地域に向けて障がいの啓発を行った。 	

(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 96%以上の利用者が職員の対応や施設の環境整備等に、概ね満足している。 ・ アンケート結果については、別紙のとおり。
----------------	---

3 施設の利用状況

(1) 利用実績					
			今年度	前年度	特記事項（前年比）
	施設利用者		14,272 人	14,762 人	97%
	相談支援	面接相談	2,438 件	2,462 件	99%
		電話相談	6,271 件	8,082 件	78%
		家庭訪問	637 件	588 件	108%
		同行	77 件	62 件	124%
ケア会議	140 件	121 件	116%		
相談支援合計		9,563 件	11,315 件	85%	
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 日常生活支援 (2) 在宅福祉サービスの利用援助 (3) 相談・情報提供 (4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業 (5) 地域交流・啓発活動 (6) 障がい者及び家族等の地域生活の支援 				

4 収支（児島）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 38,771 千円 市からの指定管理料（委託料） 36,092 千円 利用料金 2,341 千円 その他の収入 338 千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 37,024 千円 人件費 27,247 千円 光熱水費 1,276 千円 修繕料 363 千円 消耗品費 638 千円 施設管理委託費 990 千円 その他経費 6,510 千円	